

別紙1「サービス機能一覧」

【対応区分欄】「◎：パッケージ標準対応」「○：代替機能で対応（無償）」「△：カスタマイズ対応（有償）」「×：対応不可」を記入すること。

なお、要求機能項目の前に（重）とあるものについては、特に重要視する機能であり、満たさないものは失格事由となりうる。

【備考欄】「○：代替機能で対応（無償）」代替機能の内容を記入すること。「△：カスタマイズ対応（有償）」カスタマイズ内容と見積額を記入かつ経費見積額に含めること。

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	共通	1	当該導入クラウド型パッケージシステムの基本サービス機能はすべて提供すること		
重	共通	2	当該導入クラウド型パッケージシステムの導入実績が他自治体または国内で10件以上あること		
重	共通	3	図書館業務：年末年始除く毎日 (メンテナンス等による計画停止がある場合、1週間前までに通知を行うこと) 問い合わせ受付：年末年始と図書館の休日を除く毎日		
重	共通	4	DMZには利用者氏名、住所、電話番号、性別、電子メールアドレスなどの利用者個人情報は一切保持しないこと		
重	共通	5	IDとパスワードにより利用認証を行うこと（利用権限の付与）		
重	共通	6	データのバックアップを適宜行うこと。バックアップは国内に退避させること		
重	共通	7	10分毎にハードウェアの死活監視を行うこと		
重	共通	8	障害監視を適宜行い、障害検知時は通知と報告を行うこと		
重	共通	9	不正アクセスへの対策を行っていること		
重	共通	10	DDoS攻撃への対策を行っていること		
	共通	11	認証されたIDの利用状況について記録を保存すること		
	共通	12	貸出・返却時のバーコード読取時のデータ応答：1秒以内（通信速度100MB時）		
	共通	13	オンラインで端末より書誌検索や予約受付時の応答：10秒以内（ヒット件数100件）		
重	共通	14	蔵書数40万冊未満を管理できること		
重	共通	15	サーバにコンピュータウイルスの検出・駆除を行う機能を有するソフトウェアを備え、監視を行うこと		
重	共通	16	日本国内に設置されたデータセンターであること		
重	共通	17	Tier 3以上の基準を満たしており、建築基準法の新耐震基準に適合していること		
重	共通	18	情報資産は日本国内に保管されること		
重	共通	19	当該クラウドサービスの運用実績があること		
	全般	20	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目および文字のサイズも自動的に変更できること		
	全般	21	主画面において、背景色（テーマカラー）が異なる項目に任意の背景色による差別化ができること		
	全般	22	使用する画面のフォントは任意に設定できること		
	全般	23	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること		
重	全般	24	処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること		
重	全般	25	TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること		
	全般	26	ボタンが大きく、ディスプレイがタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること		
重	全般	27	エラーメッセージによる読み込み時、端末で読み込めなかった情報は一覧目を出せること		
	全般	28	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤ってシステム画面内の「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること		
重	全般	29	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと		
重	全般	30	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること		
	全般	31	画面の背景色（テーマカラー）を共通で設定したり、オペレータID毎に設定できること		
重	全般	32	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと		
	全般	33	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども設定可能なこと		
重	全般	34	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと		
重	全般	35	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと		
	全般	36	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
重	全般	37	統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書／児童書別）、利用状況（一般／児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書／児童書別、月別））を出力できること		
重	全般	38	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること		
重	全般	39	貸出票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること		
重	全般	40	読書手帳用のシールを任意の専用プリンタにより出力できること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	全般	41	シールの出力項目等をシールの範囲内で移動または編集できること		
重	全般	42	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと		
重	全般	43	本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードを印刷できること		
重	全般	44	本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードを印刷できること		
重	全般	45	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること		
重	全般	46	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと		
重	全般	47	スマートフォン画面に利用者カードのバーコードの表示が可能なこと。また表示するにはパスワード等の認証が必要なこと。		
重	全般	48	スマートフォン画面に表示した利用者カードのバーコードをバーコードリーダーで直接読み込めること		
重	全般	49	将来的にICタグおよびIC機器を使った運用ができること		
重	全般	50	将来的に電子書籍も併用した運用ができること		
重	全般	51	学校図書館システムとの連携が可能であること		
重	全般	52	TRCのTOOLiと連携できること		
重	全般	53	TRCのTOOLiのバージョンアップの対応は無償で行うこと。		
重	窓口業務	54	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと		
	窓口業務	55	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること		
	窓口業務	56	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例) 複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること		
	窓口業務	57	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧		
重	窓口業務	58	職員向けの「おしらせ・イベント情報」表示ができること。		
	窓口業務	59	業務ホーム画面に「当日の利用状況」表示ができること。		
重	窓口業務	60	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること		
重	窓口業務	61	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名/資料名が確認できること		
重	窓口業務	62	資料に対して、コメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を随時入れられること）		
重	窓口業務	63	資料情報および利用者情報に付加するコメントは追加・変更・削除ができ、コメント数に制限がないこと		
	窓口業務	64	資料情報および利用者情報に付加されたコメント毎に登録日と登録者が確認できること		
重	貸出業務	65	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること		
重	貸出業務	66	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も行えること		
重	貸出業務	67	館内貸出処理が行えること。		
	貸出業務	68	貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること		
重	貸出業務	69	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること		
重	貸出業務	70	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること		
重	貸出業務	71	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること		
	貸出業務	72	利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」などの表示ができること		
	貸出業務	73	移動図書館等での使用のため、貸出館・サービスポイントを指定変更して貸出を行えること		
重	貸出業務	74	利用者区分・資料種別の組み合わせに対して貸出可能か否かのチェックを行えること		
重	貸出業務	75	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の貸出を制限できること また、職員判断により貸出もできること		
重	貸出業務	76	図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと		
	貸出業務	77	図書館カレンダーは館毎に設定できること		
	貸出業務	78	貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること		
	貸出業務	79	貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること）		
	貸出業務	80	貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示から入力するなどの入力の簡素化が実現されること（資料区分毎に変更可能なこと）		
	貸出業務	81	貸出基本画面より貸出期限変更、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	貸出業務	82	バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと		
	貸出業務	83	利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること		
	貸出業務	84	貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること		
	貸出業務	85	貸出一覧から継続貸出、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと		
重	貸出業務	86	紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること		
重	貸出業務	87	紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること		
重	貸出業務	88	紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷できること		
重	貸出業務	89	紛失資料の弁償受領書を印刷できること		
重	貸出業務	90	個人情報保護の観点から、ワンタッチで表示情報クリアができること		
重	貸出業務	91	個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること）		
重	貸出業務	92	利用者の新規登録で、必要最低限の項目のみを入力すれば貸出が行えること。または仮登録機能により、新規登録の際に利用者の待ち時間を極力減らすことができること		
重	貸出業務	93	仮登録機能の場合は、仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した利用者情報を本登録の利用者情報で更新することができること		
重	貸出業務	94	家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること		
重	貸出業務	95	家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること		
	貸出業務	96	家族連携処理をする利用者には、登録時に連携してよいかメッセージを表示すること		
重	貸出業務	97	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること		
重	貸出業務	98	利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること		
重	貸出業務	99	貸出画面で、既貸出資料の全資料・延滞資料・長期延滞資料・督促資料が一目でわかること		
	貸出業務	100	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか、未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報が確認できること		
	貸出業務	101	個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示／非表示を端末毎に予め設定でき、非表示設定時でも、ワンタッチで利用者氏名を確認できること		
	貸出業務	102	個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、ワンタッチで資料名を確認できること		
	貸出業務	103	貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えること。また、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること		
	貸出業務	104	利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約が表示できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も表示できること		
	貸出業務	105	貸出処理画面で、利用者の予約割当済資料の有無が一覧で確認できること		
	貸出業務	106	貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること		
	貸出業務	107	画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること		
重	貸出業務	108	利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を表示できること		
重	貸出業務	109	貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みを見間違ふことのないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を誤読した場合、利用者番号であることを判断できること		
重	貸出業務	110	貸出処理後、利用者番号・貸出資料・返却予定日・発行日・予約待人数・自由文等をレシートプリンタにより印刷できること		
重	貸出業務	111	貸出レシート印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料、延長済み資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること		
	貸出業務	112	代表返却期限日をレシート上段に印刷できること		
	貸出業務	113	貸出レシートを資料名、資料番号の両方を印字できること		
重	貸出業務	114	貸出レシートは再出力が可能であること		
重	貸出業務	115	レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること		
	貸出業務	116	貸出処理後、利用者番号・タイトル・人名・出版社・貸出館・資料種別・分類・返却期限・合計貸出点数・発行日・頁数をページプリンタにより印刷できること		
重	貸出業務	117	貸出処理後、資料名・著者名・出版社・利用日をラベルプリンタによりシールに印刷できること		
重	貸出業務	118	シールに出力する内容は、直前の操作による貸出分または選択操作した資料のみ・当日貸出分・貸出中全て、から選択して設定できること		
重	貸出業務	119	シールは再出力が可能であること		
重	貸出業務	120	バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること		
	貸出業務	121	通知はアラーム音でも、ポップアップウィンドウでも設定できること		
重	貸出業務	122	貸出画面では、各種確認についてはポップアップウィンドウで表示することも可能なこと		
重	貸出業務	123	延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約有利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
重	貸出業務	124	コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
重	貸出業務	125	バーコードを印刷した利用者カードで貸出が可能なこと		
重	貸出業務	126	スマートフォンの画面に利用者バーコードの表示で貸出が可能なこと。画面表示をバーコードリーダーで直接読み込んで貸出が可能なこと。		
重	貸出業務	127	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	貸出業務	128	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと		
重	返却業務	129	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること		
重	返却業務	130	不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること		
	返却業務	131	ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること		
	返却業務	132	連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること		
	返却業務	133	返却画面貸出一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること		
	返却業務	134	家族連携登録をした利用者について、連携した家族の未返却資料一覧が表示できること		
	返却業務	135	返却資料一覧表示時、資料種別（図書、雑誌、視聴覚資料等）貸出中資料が表示されること		
	返却業務	136	返却時に予約資料を識別することができること		
	返却業務	137	借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること		
	返却業務	138	資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複本情報に対しても同じ処理が可能なこと）		
	返却業務	139	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号を読み込むだけででき、また、バーコードリーダーによる画面切替えもできること		
	返却業務	140	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること		
重	返却業務	141	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと		
	返却業務	142	返却資料の保管場所が場所毎に一目でわかること		
	返却業務	143	返却資料の受入形態が区分毎に一目でわかること		
	返却業務	144	返却資料の更新後資料状態が区分毎に一目でわかること		
重	返却業務	145	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること		
重	返却業務	146	画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること		
	返却業務	147	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること		
	返却業務	148	返却画面から返却処理を実施した利用者の貸出一覧を表示できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと		
	返却業務	149	画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること		
	返却業務	150	貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること 未返却資料の延滞・長期延滞・督促情報は一目でわかること		
	返却業務	151	通知はアラーム音でも、ポップアップウィンドウでも設定できること		
重	返却業務	152	確実に返却されない場合は、エラー音がでること		
	返却業務	153	返却した利用者に対するコメント（忘れ物、落とし物、その他の案内等）通知ができること		
重	返却業務	154	コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること		
	返却業務	155	希望者には返却証明書をレシートに印刷できること		
	返却業務	156	返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること		
	返却業務	157	返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く）		
重	返却業務	158	返却された資料番号から、返却者の確認が可能なこと		
	返却業務	159	返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却操作端末ID・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること		
重	返却業務	160	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること		
重	返却業務	161	利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること		
	返却業務	162	予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当てとする		
重	返却業務	163	返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送②通常回送③回送中にしないを選択可能にすること		
重	返却業務	164	予約割当て中の資料を再度返却しても、割当ての利用者は変わらないこと		
	返却業務	165	予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当て通知票として自動的に印刷できること		
	返却業務	166	予約割当て通知票の最上部に割当て対象利用者の氏名または氏名カナが印刷可能なこと		
	返却業務	167	返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること		
重	返却業務	168	他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること		
重	返却業務	169	予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること		
重	返却業務	170	予約割当てでレントの再出力が可能であること		
重	資料検索業務	171	資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・受賞情報・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索、および図書館独自にて付与したキーワードによる検索、およびNDC分類・請求記号・別置記号・請求分類・資料番号・発注番号を検索項目にできること		
重	資料検索業務	172	資料区分の複数選択による横断検索ができること		
重	資料検索業務	173	所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること		
重	資料検索業務	174	所蔵資料の検索対象に、除籍済み資料も含むことができること		
	資料検索業務	175	論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること）		
重	資料検索業務	176	項目により前方/後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること		
重	資料検索業務	177	各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること）		
	資料検索業務	178	検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること）		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	資料検索業務	179	資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること		
重	資料検索業務	180	「全文検索」では 複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」検索ができること		
重	資料検索業務	181	全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること		
重	資料検索業務	182	請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）		
	資料検索業務	183	郷土資料に関連したキーワードなど任意に追加したローカル情報も含めて検索できること		
重	資料検索業務	184	検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと		
重	資料検索業務	185	検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと		
	資料検索業務	186	ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞り込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること		
	資料検索業務	187	内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること		
	資料検索業務	188	画面から典拠対象の追加・修正・削除ができること。また、外部人名典拠ファイルからの一括登録もできること		
	資料検索業務	189	検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること		
	資料検索業務	190	目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名/版書名/シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名）		
	資料検索業務	191	検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること		
	資料検索業務	192	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること		
	資料検索業務	193	複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること		
	資料検索業務	194	複本一覧は開架場所に保管されている資料を優先して上位に表示できること		
	資料検索業務	195	書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること		
	資料検索業務	196	検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること		
	資料検索業務	197	検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること		
	資料検索業務	198	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること		
	資料検索業務	199	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること		
重	資料検索業務	200	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること		
	資料検索業務	201	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること		
	資料検索業務	202	検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並べ替えできること		
重	資料検索業務	203	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色、文字色、文字などで一目でわかるよう表示できること		
	資料検索業務	204	検索結果として表示する項目は任意に設定できること		
重	TOOLi連携	205	図書館システムとTOOLiサーバと連携する機能があること 図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLiサーバと連携して実施し、結果の一覧を同一画面に表示できること		
重	TOOLi連携	206	書名、著者名、件名などをAND、OR検索できること		
重	TOOLi連携	207	フリーワード検索と条件指定検索（書名・著者名・件名など）とを掛け合わせた検索ができること		
重	TOOLi連携	208	検索結果のタイトル一覧は、所蔵データと未所蔵データ（TOOLiのデータ）の色を変えて表示できること		
重	TOOLi連携	209	検索結果の詳細情報の表示が行えること		
重	TOOLi連携	210	詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと		
	TOOLi連携	211	TRC-TOOLiサイトから取得した情報から、書誌登録・選定・発注・相互貸借の連携が可能なこと		
重	利用者登録業務	212	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること		
	利用者登録業務	213	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること		
	利用者登録業務	214	複数の電話番号および連絡先を登録できること（この時、「携帯」「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること）		
重	利用者登録業務	215	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること		
	利用者登録業務	216	家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複製し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること		
重	利用者登録業務	217	利用者の検索機能を有すること		
	利用者登録業務	218	登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること		
重	利用者登録業務	219	利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること		
	利用者登録業務	220	生年月日を西暦でも和暦でも登録できること また西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること		
	利用者登録業務	221	利用者名入力時に、漢字のローマ字入力に基づいて自動でヨミを振れること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	利用者登録業務	222	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること		
重	利用者登録業務	223	利用者の番号その他最小限の情報入力で登録して貸出でき、その後利用者情報を追加修正することが可能なこと		
重	利用者登録業務	224	図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること		
重	利用者登録業務	225	利用者の有効期限の管理を行うことができること。尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと		
重	利用者登録業務	226	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日などで二重登録利用者のチェックを行えること		
重	利用者登録業務	227	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること		
重	利用者登録業務	228	E-Mailは2個以上登録できること。また、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること		
重	利用者登録業務	229	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと		
	利用者登録業務	230	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること		
	利用者登録業務	231	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること		
	利用者登録業務	232	仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること		
	利用者登録業務	233	仮パスワードには有効期限を設けることができること		
重	利用者登録業務	234	ID権限により、利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること		
重	利用者登録業務	235	利用者情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
	利用者登録業務	236	利用者情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	利用者登録業務	237	利用者情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録できること		
重	利用者登録業務	238	利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと		
	利用者登録業務	239	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること		
	利用者登録業務	240	利用者毎の一定期間の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること		
	利用者登録業務	241	利用者情報の更新履歴を確認できること		
	利用者登録業務	242	利用者詳細情報画面を表示する際に、利用者の個人情報非表示状態で画面表示でき、また非表示/表示がワンタッチで切替できること		
重	利用者登録業務	243	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）		
重	利用者登録業務	244	利用者カードの有効期限は自由に設定できること		
	予約業務	245	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること		
	予約業務	246	利用者からのリクエストに対応するため、未所蔵資料への予約登録ができること		
	予約業務	247	未所蔵資料への予約登録時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること		
	予約業務	248	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること		
重	予約業務	249	利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること		
重	予約業務	250	複本のうち特定の資料を予約できること（個別予約という）		
	予約業務	251	割当済みの予約の割当状態を期限切れなどで解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること		
	予約業務	252	受付館・受渡館を設定することができること		
	予約業務	253	館同士の資料の予約連絡をシステムと連係したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること		
	予約業務	254	資料一覧画面で複数の資料を選択し、一括予約ができること。また、課題図書等のグループ単位での予約もできること		
	予約業務	255	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること		
重	予約業務	256	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
重	予約業務	257	任意の予約を選択し、予約取消が行えること		
重	予約業務	258	予約取消を行う場合、「取り置き期限超過」等の予約取消理由を登録できること		
	予約業務	259	取消した予約を確認することができること		
	予約業務	260	取消した予約を復元することができること		
	予約業務	261	貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること		
	予約業務	262	予約回送依頼は各館毎に設定した優先順位に準じて回送依頼送信されること		
	予約業務	263	予約回送依頼は送信後でも取消できること		
	予約業務	264	予約回送依頼は依頼を受けた館で拒否できること。拒否した場合は、次に優先順位の高い館に対して自動で回送依頼送信ができること		
重	予約業務	265	予約取消が行われた場合、回送依頼は自動で取消されること		
	予約業務	266	予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと		
	予約業務	267	利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約欄にある資料を使い直接予約をかけられること）		
重	予約業務	268	複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること		
	予約業務	269	相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること）		
	予約業務	270	資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと。		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	予約業務	271	特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと。また特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと。		
重	予約業務	272	市内の公民館（最大21カ所）を貸出資料の受取場所として登録可能なこと（取次サービスという）		
重	予約業務	273	取次サービスは、窓口・館内OPAC・WebOPACの予約画面から受取場所を設定できること		
重	予約業務	274	長期延滞利用者への予約割当制限ができること		
	予約業務	275	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約割当を制限できること また、職員判断により予約割当もできること		
重	予約業務	276	予約メモ入力ができること		
	予約業務	277	予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること		
	予約業務	278	利用者情報等で定型文の予約メモを登録することができ、設定登録されている利用者の予約時には、自動的に予約メモの登録がおこなえること		
	予約業務	279	予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること		
	予約業務	280	予約配送および他館返却による配送管理ができること。誤って配送処理した場合、取消もできること。		
重	予約業務	281	配送館状況(A館→B館)、配送日等の状況をリアルタイムに確認ができること。		
	予約業務	282	自館から予約配送依頼した資料の状況をリアルタイムに確認ができ、依頼取り消しもできること。		
重	予約業務	283	他館から予約配送依頼されている資料の状況をリアルタイムに確認ができ、依頼拒否もできること。		
	予約業務	284	一覧画面で配送状況(配送資料名、配送元館名、配送先館名、配送日等)が確認できること。		
	予約業務	285	一覧画面で配送依頼状況(配送依頼資料名、配送元館名、配送先館名、配送日等)が確認できること。		
重	予約業務	286	配送元館/配送先館毎の年間配送状況(返却時の本籍館配送、予約配送、予約取消毎の毎月配送件数)が印刷できること。		
重	予約業務	287	他館で利用可能な所蔵がある場合、利用可能館へ配送依頼票の出力ができること。		
	予約業務	288	予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと		
重	予約業務	289	予約受付および受け渡し場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること		
	予約業務	290	窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること		
	予約業務	291	予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること		
	予約業務	292	予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと		
重	予約業務	293	予約した際の予約日時を管理することができること		
	予約業務	294	予約順位は受付方法(窓口・館内OPAC・WebOPAC)にかかわらず、登録した順番とする		
	予約業務	295	予約順位の変更ができること		
	予約業務	296	ただし、予約受付時間は変更されないこと 予約された資料の割当方法(返却待ち、借受待ち、発注待ち等)の情報を管理できること		
	予約業務	297	受取希望日の入力、管理が可能なこと		
	予約業務	298	予約申込方法(来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約)の管理ができ、申込方法毎の統計資料が出力可能なこと		
	予約業務	299	予約割当対象資料のリストが出力されること		
	予約業務	300	予約連絡管理として、利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法(電話、E-Mail等)の抽出条件により、データの抽出をできること。		
重	予約業務	301	予約割当済のメールを一括送信または手動送信による送信ができること		
重	予約業務	302	特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること		
	予約業務	303	予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと		
重	予約業務	304	予約割当を禁止したい(予約させたくない)資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することができること		
	予約業務	305	長期延滞資料(貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する)のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約受付もできること		
	予約業務	306	予約取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと		
	予約業務	307	検索結果から予約処理に展開することができること		
	予約業務	308	予約者の予約・貸出状況(予約数・貸出数・督促数・延滞数)を予約受付画面に表示できること		
	予約業務	309	予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること		
	予約業務	310	返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること		
	予約業務	311	基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと		
	相互貸借業務	312	借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること		
重	相互貸借業務	313	他館からの相互貸借の資料を受入処理して一般利用者に対する貸出ができること		
重	相互貸借業務	314	どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること(借受館へ返却済みか等の状態も表示できること)		
重	相互貸借業務	315	借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること		
重	相互貸借業務	316	借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること		
	相互貸借業務	317	借受予定の資料をリクエストして貸出できること		
重	相互貸借業務	318	借受資料単位に借受先への返却期限を管理できること		
	相互貸借業務	319	他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること(次回再利用できること)		
	相互貸借業務	320	他館資料を返却した際に、誤って次の予約を登録している場合に、予約割当を抑制すること等により、相互貸借資料の再貸出を制限できること		
重	相互貸借業務	321	他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと		
	相互貸借業務	322	借受状況を表示する際、借受期限切れ資料の確認が容易にできること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	相互貸借業務	323	年報（相互貸借毎・分類毎の貸出点数、借受点数）や実績一覧（借受タイトル・貸出タイトル）が印刷できること		
	資料管理業務	324	典拠データを利用してMARCデータを登録できること		
	資料管理業務	325	MARCの各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること		
重	資料管理業務	326	書誌情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
	資料管理業務	327	書誌情報に付加するコメントの表示順を設定できること		
	資料管理業務	328	書誌情報に付加するコメント毎に登録日と登録館を登録することが可能なこと		
	資料管理業務	329	複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること		
	資料管理業務	330	TRCMARC（Tタイプ）に費用を追加することなく対応できること		
重	資料管理業務	331	TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと		
重	資料管理業務	332	定期的にTOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること		
重	資料管理業務	333	TOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルの自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理は電子書籍MARC（抽出MARC、更新MARC）も実行できること		
重	資料管理業務	334	所蔵資料の資料区分・統計分類毎に点数・金額を集計し、内訳表を出力できること		
	資料管理業務	335	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
重	資料管理業務	336	統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
	資料管理業務	337	ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること		
	資料管理業務	338	ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
重	資料管理業務	339	借受資料登録時は借受先が入力できること		
重	資料管理業務	340	資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと		
重	資料管理業務	341	複本のデータ管理が行えること		
	資料管理業務	342	資料の除籍・復籍処理が連続で行えること		
重	資料管理業務	343	蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること		
	資料管理業務	344	資料の新規登録時、請求記号を管理情報の下記の項目をもとに初期値を表わすこと NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号		
	資料管理業務	345	借受け先別順の資料リストが出せること		
重	資料管理業務	346	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること		
	資料管理業務	347	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること		
	資料管理業務	348	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること		
重	資料管理業務	349	未利用資料の一覧が印刷できること また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること		
	資料管理業務	350	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること		
重	蔵書点検	351	蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること		
重	蔵書点検	352	蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする		
	蔵書点検	353	蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること		
	蔵書点検	354	蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること 設定された条件は、変更・削除が可能なこと		
	蔵書点検	355	蔵書点検期間中でも発注や受入ができること		
	蔵書点検	356	蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること		
	蔵書点検	357	蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること		
	蔵書点検	358	不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること		
	蔵書点検	359	任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること		
	蔵書点検	360	蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること		
	特集資料管理	361	特集毎に資料が登録できること また、登録済みの特集に資料番号の読み取りにより追加・削除ができること		
	特集資料管理	362	特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所を一括で戻ること		
	特集資料管理	363	特集を一時停止できること 一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること		
	特集資料管理	364	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる		
重	特集資料管理	365	特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること		
重	特集資料管理	366	特集へ登録している資料一覧を印刷できること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	特集資料管理	367	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること		
	特集資料管理	368	特集の開始・停止・再開・終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること		
重	特集資料管理	369	複数の特集を同時に管理できること		
重	特集資料管理	370	1点の資料を複数の停止中の特集に登録できること		
	特集資料管理	371	特集毎に開始日／終了予定日に合わせて自動的に所蔵館、保管場所の変更を開始／停止する設定ができること 手動での動作に戻すこともできること		
重	特集資料管理	372	特集毎に年齢別の貸出冊数統計が出力できること		
重	特集資料管理	373	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること		
重	雑誌管理	374	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル／巻号の書誌連携が行えること		
重	雑誌管理	375	タイトルと巻号情報が分けて管理されること		
	雑誌管理	376	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること		
重	雑誌管理	377	逐次刊行物（雑誌等）の欠号・増刊管理ができること		
重	雑誌管理	378	最新号受入登録時に、「通巻番号」の全号との比較で欠号チェックを行うこと		
	雑誌管理	379	最新号を受け入れたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること		
	雑誌管理	380	最新受入が「別冊」や「増刊号」の場合、最新号とは別扱いとし、「定期号」の最新号を貸出禁止の状態で見守ることができること		
重	雑誌管理	381	雑誌タイトル毎に保存期間、開架期間、貸出禁止期間の設定ができること		
	雑誌管理	382	雑誌タイトル毎に保存区分の設定ができること 保存区分には「永久保存」の設定もできること		
	雑誌管理	383	開架から閉架に移動する期日を管理できること		
重	選書業務	384	ISBN番号から選書登録ができること		
重	選書業務	385	MARCを利用して選書登録ができること		
重	選書業務	386	TOOLi連携時には、TOOLiを利用したMARC番号入力により選書登録ができること		
重	選書業務	387	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること		
重	選書業務	388	選書登録した資料を一括で発注処理ができること		
重	選書業務	389	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと		
重	選書業務	390	選書登録画面で各館の選書状況を確認できること		
重	選書業務	391	登録した選書情報を選書リストに出力できること		
重	選書業務	392	選書リストに対象資料の集計金額を出力できること		
重	選書業務	393	選書データの追加・修正・削除ができること		
重	発注・受入業務	394	発注状況、受入状況が画面で確認できること		
	発注・受入業務	395	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること（発注中のステータスを画面上に表示できること）		
	発注・受入業務	396	発注図書にそのリクエスト者を（複数）入力できること		
	発注・受入業務	397	新刊MARCを利用した発注が可能なこと		
重	発注・受入業務	398	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム（TRCのTOOLi等）に対応すること		
重	発注・受入業務	399	同一タイトルに対する「二重発注」「既に所蔵済」の場合、チェックし誤発注の抑止ができること また、発注点数および複本点数を表示すること（他に何点発注しているかあるいは他に何点所蔵している分かること）		
重	発注・受入業務	400	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと）		
	発注・受入業務	401	発注情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
重	発注・受入業務	402	発注の取消が行えること		
	発注・受入業務	403	発注取消データから再発注ができること		
	発注・受入業務	404	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること		
重	発注・受入業務	405	TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）		
重	発注・受入業務	406	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない）		
	発注・受入業務	407	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること		
重	発注・受入業務	408	TOOLi一括発注画面を使用したTOOLiサーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注／クイック発注／見計らい発注		
重	発注・受入業務	409	TOOLi連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOLi進捗状況／TOOLi受信方法／TOOLi受信形態／TOOLi受付日／TOOLi入荷日／TOOLi出荷日		
	発注・受入業務	410	MARC番号発注での発注入力時に、TOOLiサーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること		
	発注・受入業務	411	MARC番号発注での発注入力時に、予め設定したルールに従って請求記号を自動表示および登録できること		
	発注・受入業務	412	MARC番号発注での発注入力時に、発注ローカル情報に発注コメントが付与できること		
重	発注・受入業務	413	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）		
重	発注・受入業務	414	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること		
	発注・受入業務	415	発注情報を参照しながら受入処理が行えること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	発注・受入業務	416	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること		
重	発注・受入業務	417	各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）		
重	発注・受入業務	418	受入時に資料状態の初期値を任意に設定できること		
重	発注・受入業務	419	受入後一定期間、新着資料として識別することができ、館別に設定できること。		
重	発注・受入業務	420	受入リストが作成でき、CSV出力、印刷ができること		
重	発注・受入業務	421	受入リストで、以下の条件によりリストの出力が可能なおこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順		
	発注・受入業務	422	受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力で、ISBN番号を出力できること		
重	発注・受入業務	423	新着資料のリストを作成でき、CSV出力、印刷ができること		
重	発注・受入業務	424	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること		
重	発注・受入業務	425	発注時処理から予算の差し引き処理が館室毎に自動連携できること		
重	発注・受入業務	426	受入処理から予算の差し引き処理が館室毎に自動連携できること		
重	発注・受入業務	427	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること		
重	利用者管理業務	428	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること		
	利用者管理業務	429	複数の項目に入力することによりAND検索ができること		
	利用者管理業務	430	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
	利用者管理業務	431	検索中断キーにより任意に中断できること		
	利用者管理業務	432	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること		
	利用者管理業務	433	利用者一覧を表示できること 項目の種類・幅・順番を任意に設定できること		
重	利用者管理業務	434	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）		
重	利用者管理業務	435	検索された利用者を選定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認へ処理展開ができること		
重	利用者管理業務	436	検索された利用者を選定し、その家族を検索できること（家族連携対象者および電話番号一致利用者）		
	利用者管理業務	437	検索された利用者を選択し、選択した利用者の利用者番号を引継ぎ貸出処理へ展開ができること		
	利用者管理業務	438	入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること		
重	利用者管理業務	439	団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること		
重	利用者管理業務	440	地区別に利用者集計を出力できること		
	利用者管理業務	441	抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
重	利用者管理業務	442	統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
	利用者管理業務	443	利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・利用状態区分一括変更・一覧印刷が可能なおこと		
	利用者管理業務	444	最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を無効（除籍）にできること		
	利用者管理業務	445	貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること		
	利用者管理業務	446	一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により督促状等を送付する利用者を選択できること		
	利用者管理業務	447	督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なおこと		
	利用者管理業務	448	返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種順に打ち出せること）		
	利用者管理業務	449	督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること		
	利用者管理業務	450	督促状に資料名・資料番号のいずれかを印字するか選べること		
重	利用者管理業務	451	督促状はA4サイズの用紙にも対応できること		
	利用者管理業務	452	督促状ははがきにも対応できること		
重	利用者管理業務	453	予約連絡メール、督促連絡メールをシステムから送信できること また、あらかじめ送信時間、送信曜日、送信対象期間等を設定して自動で送信もできること		
	利用者管理業務	454	複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること		
重	利用者管理業務	455	貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること		
重	利用者管理業務	456	紛失資料の一覧が印字できること		
	利用者管理業務	457	予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なおこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵資料のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分、予約状態 ・予約リストには利用者番号のバーコードを印字できること		
重	利用者管理業務	458	予約連絡が必要な利用者の一覧が抽出でき、出力、印刷できること。		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	利用者管理業務	459	予約連絡対象の利用者に対し、連絡用のメールを送信する機能を有すること		
重	利用者管理業務	460	返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること		
	利用者管理業務	461	返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
重	利用者管理業務	462	返却期限日が過ぎていない利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること		
	利用者管理業務	463	返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
	利用者管理業務	464	利用者カードを再発行時に有効期限を更新するか否かを選択できること		
重	館内OPAC	465	タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		
重	館内OPAC	466	ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと		
重	館内OPAC	467	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること		
重	館内OPAC	468	フリーワードによる検索時、資料番号の検索ができること		
重	館内OPAC	469	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること		
	館内OPAC	470	検索対象とする館を自館のみか全館または複数の館を選択した上で検索できること		
	館内OPAC	471	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること		
	館内OPAC	472	タイトル・著者名（典拠データ参照）・キーワード等より選択して検索できること（一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと）		
重	館内OPAC	473	50音表記から検索キーの入力ができること（この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと）		
重	館内OPAC	474	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
	館内OPAC	475	検索結果一覧として、該当件数・現在頁数および全体頁数・書影表示の領域・項番・資料名・資料区分・人名・出版社・分類・出版年月を表示できること		
	館内OPAC	476	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
重	館内OPAC	477	お知らせ・貸出中一覧・予約中一覧（未確保/確保済み）・新着資料一覧・図書館カレンダーを表示できること		
重	館内OPAC	478	フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと		
	館内OPAC	479	検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ（先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定）に直接移動できること		
	館内OPAC	480	特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること		
	館内OPAC	481	発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索/予約の対象にできること		
重	館内OPAC	482	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること		
	館内OPAC	483	館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること		
	館内OPAC	484	キーボードによる検索も可能なこと。		
	館内OPAC	485	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
重	館内OPAC	486	大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること		
重	館内OPAC	487	画面を触らない時間（任意設定）が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る		
	館内OPAC	488	一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること		
重	館内OPAC	489	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）		
重	館内OPAC	490	除籍予定や不明資料などは表示しないこと		
重	館内OPAC	491	館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと		
	館内OPAC	492	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること		
	館内OPAC	493	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること		
	館内OPAC	494	予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと		
	館内OPAC	495	館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること		
	館内OPAC	496	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	館内OPAC	497	貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	館内OPAC	498	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	館内OPAC	499	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
	Web蔵書検索	500	検索結果一覧画面で表示される書誌を、検索画面に戻ることなく指定の項目（資料区分・人名・日本十進分類・出版年等）で絞り込むことができること		
重	Web蔵書検索	501	「JIS X 8341-3:2016」または総務省「みんなの公共サイト運用ガイドライン（2016年版）」のA以上に準拠したデザインであること		
重	館内OPAC	502	検索資料の資料情報、1冊ごとの所蔵状況、配架場所、配架図が表示できること。さらに配架図については、資料の場所を表示できること。		
重	館内OPAC	503	館内OPACから在架場所一覧をレシートに印刷できること また在架場所を配架図としてイメージ印刷できること		
重	館内OPAC	504	館内OPAC案内図については、初期画面（導入時）は受注者で行うが、その後は職員でも変更ができるようなインターフェイスを備えること。または、導入後においても案内図の変更については保守内容に含めること。		
	館内OPAC	505	予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード/利用者番号/予約受渡館/予約連絡方法		
	館内OPAC	506	予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード/資料番号/タイトル/著者/出版者/出版年/ページ数/価格/請求記号		
	館内OPAC	507	催し物表示ができること		
重	館内OPAC	508	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること		
重	館内OPAC	509	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること（システムと連動して自動的に表示できること）		
重	館内OPAC	510	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること（予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること）		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	館内OPAC	511	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
重	館内OPAC	512	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
	館内OPAC	513	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
重	館内OPAC	514	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと		
	館内OPAC	515	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること		
重	館内OPAC	516	館内OPACのアクセス統計がとれること		
	館内OPAC	517	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること		
重	館内OPAC	518	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、目録別の集計を行うことができること		
重	Web蔵書検索システム	519	インターネット蔵書検索が可能なこと		
重	Web蔵書検索システム	520	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること		
重	Web蔵書検索システム	521	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォンからも検索ができること		
重	Web蔵書検索システム	522	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること		
重	Web蔵書検索システム	523	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること 両方の画面があること		
重	Web蔵書検索システム	524	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること		
重	Web蔵書検索システム	525	資料種別（図書・雑誌・AV（CD・ビデオ・DVD等））または全資料より選択して検索できること		
	Web蔵書検索システム	526	雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること		
	Web蔵書検索システム	527	雑誌のジャンルが設定でき、1つの雑誌タイトルに複数のジャンルを設定できること		
	Web蔵書検索システム	528	資料名（3項目以上の複合検索が可能なこと）、人名（同左）による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・受賞名・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）		
重	Web蔵書検索システム	529	検索結果一覧として、以下の項目（該当件数・現在頁数および全体頁数）・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等）を表示できること		
	Web蔵書検索システム	530	一覧表示件数が設定できること		
重	Web蔵書検索システム	531	詳細表示として以下の項目（書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等）を表示できること		
	Web蔵書検索システム	532	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件（タイトル、人名、出版者等）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること		
	Web蔵書検索システム	533	検索対象とする館を複数選択した上で検索できること		
重	Web蔵書検索システム	534	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
	Web蔵書検索システム	535	資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること		
	Web蔵書検索システム	536	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること		
	Web蔵書検索システム	537	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること		
	Web蔵書検索システム	538	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
	Web蔵書検索システム	539	所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること（複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること）		
	Web蔵書検索システム	540	Web蔵書検索システムの予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること		
重	Web蔵書検索システム	541	予約カート方式であること		
重	Web蔵書検索システム	542	予約上限チェックが可能なこと		
	Web蔵書検索システム	543	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと 予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		
	Web蔵書検索システム	544	設定により、未所蔵資料への予約受付ができること		
	Web蔵書検索システム	545	未所蔵資料への予約受付時に、利用者区分・資料区分ごとで予約可否のチェックが行えること		
	Web蔵書検索システム	546	利用停止や除籍予定の利用者の予約受付を制限できること		
	Web蔵書検索システム	547	貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	Web蔵書検索システム	548	長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者がさらに一定期間以上資料を返却しなかった場合、延滞資料返却後も一定期間の予約を制限できることが可能なこと		
	Web蔵書検索システム	549	貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
	Web蔵書検索システム	550	あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
	Web蔵書検索システム	551	予約受付時の連絡方法登録は、利用者区分毎に選択できる連絡方法を制御できること		
	Web蔵書検索システム	552	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
	Web蔵書検索システム	553	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
	Web蔵書検索システム	554	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
	Web蔵書検索システム	555	予約完了時、確認メールを利用者に送信できること。		
	Web蔵書検索システム	556	予約完了時、利用者控えの出力ができること。		
重	Web蔵書検索システム	557	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
	Web蔵書検索システム	558	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
重	Web蔵書検索システム	559	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
	Web蔵書検索システム	560	新規パスワード登録時に、既にパスワードを登録済みの利用者が、新規パスワードを登録できるか、登録できないかをシステムで選択できること		
重	Web蔵書検索システム	561	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること		
	Web蔵書検索システム	562	新規パスワード登録時、氏名(カナ)を清音化してチェックできること 例) 入力文字「ジュンコ、シュンゴ、シュンコ、シユンコ・・・」を清音「シユンコ」と見なす		
	Web蔵書検索システム	563	利用者の貸出状況・予約状況という利用状況にあわせ、利用照会メニュー、図書館カレンダーや新着資料一覧などをまとめてポータル画面等で確認できること		
	Web蔵書検索システム	564	延滞等により、制限をうけている期間中の利用者に対し、利用状況照会画面にメッセージを表示できること		
重	Web蔵書検索システム	565	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
重	Web蔵書検索システム	566	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
重	Web蔵書検索システム	567	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること		
重	Web蔵書検索システム	568	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること		
重	Web蔵書検索システム	569	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること		
重	Web蔵書検索システム	570	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
	Web蔵書検索システム	571	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
	Web蔵書検索システム	572	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること		
	Web蔵書検索システム	573	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
重	Web蔵書検索システム	574	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
重	Web蔵書検索システム	575	利用者自身が予約確保されている資料を予約そのものを解除せずに予約確保状態のみ解除できること。解除した場合、自動的に予約順番の最下位にできること(感染症等で、図書館に来れない場合など)		
重	Web蔵書検索システム	576	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示できること また、予約確保されている資料が一覧の上に表示できること		
重	Web蔵書検索システム	577	利用者が予約中の資料について自身で予約取消ができること		
	Web蔵書検索システム	578	利用者が予約中のリクエスト資料については取消ができないようにすること		
	Web蔵書検索システム	579	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること		
	Web蔵書検索システム	580	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること		
	Web蔵書検索システム	581	貸出中資料の延長は任意の1点または複数冊を選択して行えること		
	Web蔵書検索システム	582	雑誌の一覧表示機能があること		
	Web蔵書検索システム	583	雑誌資料の場合、タイトル一覧から巻号一覧に展開でき、所蔵結果によって予約入力画面へ移ることができること		
重	Web蔵書検索システム	584	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が利用者で完結できること また、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること		
	Web蔵書検索システム	585	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること		
	Web蔵書検索システム	586	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること		
重	Web蔵書検索システム	587	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること		
重	Web蔵書検索システム	588	予約カートは追加、削除を可能とすること		
	Web蔵書検索システム	589	利用者認証は、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
	Web蔵書検索システム	590	利用者認証時に、利用停止・除籍予定の利用者のログインを制限できること		
	Web蔵書検索システム	591	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
	Web蔵書検索システム	592	利用者認証時に長期未利用利用者のログインを制限できること		
	Web蔵書検索システム	593	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること(業務システムに登録したカレンダーから抽出できること)		
	Web蔵書検索システム	594	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
	Web蔵書検索システム	595	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータと同じタイミングで作成されること		
	Web蔵書検索システム	596	お知らせ表示機能があること		
	Web蔵書検索システム	597	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
	Web蔵書検索システム	598	WebOPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること		
	Web蔵書検索システム	599	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	Web蔵書検索システム	600	WebOPACのアクセス統計がとれること		
	Web蔵書検索システム	601	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること		
	Web蔵書検索システム	602	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること		
重	Web蔵書検索システム	603	アクセスログを端末種類（PC/スマートフォン等）で分類して集計出力することができること		
重	Web蔵書検索システム	604	外部サイトと連携し、書影が表示できること		
重	Web蔵書検索システム	605	利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること。また登録した書誌の詳細データには資料の表紙画像も表示できること。		
重	Web蔵書検索システム	606	利用者が読んだ本を履歴としてコメント等と共にWebに記録を残すことができる機能を実装すること。		
	Web蔵書検索システム	607	コメント等で、指定回数以上の違反報告があった場合(イタズラ目的の可能性のある場合)は、当館担当職員あてに通知ができること。		
重	Web蔵書検索システム	608	貸出履歴の保存について、利用者の同意を得てから行うこと		
重	帳票・統計	609	随時作成でき、日報、月報、年報はリアルタイムに処理可能であること また、日報は当日中に出力できること		
重	帳票・統計	610	基本的にA4サイズで統一していること		
	帳票・統計	611	印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること また、利用者リストなど、大量（30,000件以上）のリスト出力を可能とすること		
	帳票・統計	612	基本的に罫線付きであること		
	帳票・統計	613	プレビュー機能で画面で確認でき、以下の帳票等が印字できること		
重	帳票・統計	614	貸出票		
	帳票・統計	615	貸出資料一覧		
重	帳票・統計	616	予約資料一覧表		
重	帳票・統計	617	予約在架資料一覧表		
重	帳票・統計	618	予約解除資料一覧表		
重	帳票・統計	619	利用者リスト（ログインIDによる制御も可能なこと）		
重	帳票・統計	620	多重登録利用者リスト		
重	帳票・統計	621	団体利用者リスト		
重	帳票・統計	622	未利用利用者リスト		
重	帳票・統計	623	督促リスト		
	帳票・統計	624	督促はがき		
重	帳票・統計	625	督促連絡依頼票		
重	帳票・統計	626	長期延滞資料リスト		
重	帳票・統計	627	資料検索結果図書一覧		
	帳票・統計	628	資料検索結果図書目録		
重	帳票・統計	629	新刊選書リスト		
重	帳票・統計	630	発注済新刊選書リスト		
重	帳票・統計	631	注文リスト		
重	帳票・統計	632	雑誌受入れ予定リスト		
重	帳票・統計	633	受入れリスト		
重	帳票・統計	634	未納品リスト		
重	帳票・統計	635	新着資料リスト		
重	帳票・統計	636	新刊リスト		
重	帳票・統計	637	雑誌受入れリスト		
重	帳票・統計	638	予算執行状況リスト		
重	帳票・統計	639	発注金額集計リスト		
重	帳票・統計	640	受入れ金額集計リスト		
重	帳票・統計	641	図書書名目録		
重	帳票・統計	642	図書著者名目録		
重	帳票・統計	643	図書分類目録		
重	帳票・統計	644	図書件名目録		
	帳票・統計	645	雑誌タイトルリスト		
重	帳票・統計	646	AVタイトル順目録		
	帳票・統計	647	AV分類目録		
	帳票・統計	648	AV件名目録		
	帳票・統計	649	人名典拠リスト		
	帳票・統計	650	出版者典拠リスト		
	帳票・統計	651	件名典拠リスト		
	帳票・統計	652	図書原簿		
重	帳票・統計	653	除籍予定リスト		
重	帳票・統計	654	雑誌一括除籍予定リスト		
重	帳票・統計	655	除籍リスト		
	帳票・統計	656	除籍原簿		
重	帳票・統計	657	未利用資料リスト		
重	帳票・統計	658	蔵書点検エラーリスト		
重	帳票・統計	659	蔵書点検もれリスト		
重	帳票・統計	660	不明資料リスト		
重	帳票・統計	661	利用統計日報		
重	帳票・統計	662	利用統計月報		
重	帳票・統計	663	利用統計年報		
重	帳票・統計	664	相互貸借月報		
重	帳票・統計	665	相互貸借年報		

重要	要求機能	通し	機能詳細	対応区分	備考欄
重	帳票・統計	666	相互貸借借受資料一覧表		
重	帳票・統計	667	相互貸借資料未返却一覧表		
重	帳票・統計	668	曜日別利用統計年報		
重	帳票・統計	669	地区別利用登録者集計		
重	帳票・統計	670	地区別利用冊数		
重	帳票・統計	671	団体貸出年報		
重	帳票・統計	672	雑誌別貸出冊数集計		
重	帳票・統計	673	蔵書統計年報		
重	帳票・統計	674	自由帳票利用者、所蔵情報等、任意の条件によって抽出する機能があり、結果がCSV形式で出力でき、印刷できること。		
	帳票・統計	675	自由帳票の抽出等の指定した条件を保存し、再度同じ条件で帳票作成することができること		
重	帳票・統計	676	ベストリーダー		
重	帳票・統計	677	予約ベスト		
重	帳票・統計	678	AV利用状況リスト		
重	帳票・統計	679	雑誌別予約件数集計		
	帳票・統計	680	貸出予約状況年報		
重	帳票・統計	681	市外在住在勤利用者（広域利用）利用統計		
重	帳票・統計	682	資料回送（出庫）統計		
重	帳票・統計	683	蔵書点検発見資料リスト		
重	帳票・統計	684	分類別蔵書冊数集計		
重	帳票・統計	685	保管場所別蔵書冊数集計		
重	帳票・統計	686	館内貸出統計		
重	帳票・統計	687	再発行利用者リスト		
	帳票・統計	688	除籍利用者リスト		
重	帳票・統計	689	寄贈資料リスト		
	帳票・統計	690	蔵書場所別種別統計		
	帳票・統計	691	移動統計年報		
	帳票・統計	692	移動統計月報		
	帳票・統計	693	移動統計日報		
	帳票・統計	694	地区別予約件数集計		
	帳票・統計	695	予約割当対象資料リスト		
	帳票・統計	696	請求記号別貸出冊数集計		
	帳票・統計	697	請求記号別予約冊数集計		
	帳票・統計	698	時間帯別利用統計		
重	帳票・統計	699	公共図書館調査票		
	帳票・統計	700	コメント別利用者リスト		
	帳票・統計	701	受取館別予約統計		
重	帳票・統計	702	雑誌タイトル別貸出ベスト		
	帳票・統計	703	雑誌タイトル別利用統計		
重	帳票・統計	704	取次サービス利用統計（利用回数、年齢別、冊数、分類別、利用館、利用種別（貸出・返却））		
	帳票・統計	705	利用者情報へのアクセス記録（アクセス日/時刻、アクセス館/IPアドレス/オペレータID、アクセスした業務、アクセスされた利用者番号）		
	Web蔵書検索	706	利用者区分・利用者貸出形態区分・住所コードの組み合わせごとに検索条件を設定できること		
	Web蔵書検索	707	団体向けの資料を団体利用者のみに表示、障害者向けの資料を障害者のみに表示、市内在住の利用者にのみ未所蔵の資料を表示することができること		
重	メールマガジン機能	708	メールマガジンにより図書館からのお知らせ、SDIサービスを利用者に送ることができること		
	メールマガジン機能	709	メールマガジンは利用者カードのない人にも発行できること		
	メールマガジン機能	710	利用者カードを持つ人のみ利用可とする運用が可能であること		
重	メールマガジン機能	711	メールの自動送信が設定できること		
	メールマガジン機能	712	メールマガジンの新規作成・保存・編集ができること		
	メールマガジン機能	713	利用者のメールアドレス・利用者番号を管理できること		
重	メールマガジン機能	714	メールアドレスの登録、変更時には確認メールが送信され、メール内の本登録URLにアクセスすることで処理が完了されること		